

農山漁村地域整備計画事前評価調書

計画の名称	「山のみち地域づくり」計画(第3期)
計画策定主体	宮崎県
対象市町村	西米良村
計画期間	平成30年度～令和4年度(5年間)
計画の目標	本地区の経済は、木材・椎茸・肉用牛・米等の農林業が中心であるが、近年、その地位の低下が著しく、特に林業においては、木材価格の長期低迷による森林所有者の経営意欲の減退、林業担い手の減少・高齢化が依然として続いていることから、適正な森林整備や林業生産活動等の基盤整備を図るため、山のみちの整備を行う。
定量的指標	森林整備実績を増加させることが、適正な森林整備はもとより、木材をはじめとする林産物の生産の増加にもつながることから、森林整備面積を10%以上増加させ、木材生産量の増加を図る。

	項目	評価細目	評価	説明欄
評 価	目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	適	本計画は既設の林道や公道等も活用しつつ、路網が適切に計画され、森林整備と適切に連携した計画となっており、市町村の振興計画等との整合性も図られている
		2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	適	本計画では、効率的な森林施業の実施や雇用の場を確保することが可能となり、生活道としての利便性の向上も図られることから、山村地域への定住の促進に寄与する計画となっている
	整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているかまた、事後評価ができる適切な指標となっているか	適	本計画では、計画の目標を達成するため、森林整備面積の10%増加と木材生産量の増加を指標としており、中間評価、事後評価が実施可能である
		2 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	適	整備計画に位置づけた事業は、計画の目標を達成するために必要な事業であり、事業実施による効果を評価する指標となっている
	整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	適	対象事業は、地域の課題に対応したものであり、県、市町村、関係団体等が一体となって推進されることが確実である
		2 地元の推進体制等は整っているか	適	対象事業は、市町村から申請される事業であり、地元関係者からの同意が得られているなど、推進体制が整っている